

1DI-G05R0 リアサスペンションアームNo.2(トヨタ) リヤラテラルリンクAssy(スバル)

取扱説明書

取付け作業前に必ずお読みください

2015.09.10 初版

■本製品は、以下に表示する車両に適合します。

車名	型式
トヨタ・86	ZN6
スバル・BRZ	ZC6
スバル・インプレッサ	GE8/GH8
スバル・WRX STI	GVB/GRB

※本書ではリアサスペンションアームNo.2で説明いたします。

■はじめにお読みください

この度は本製品をお買い求め頂き誠にありがとうございます。

本製品の機能を発揮し、かつ安全に使用していただくために本書をお読みください。

■安全上の注意

本書には本製品の機能を十分に発揮するとともに、あなたや他の人々、車両等への危険や損害を未然に防止するための注意事項を示しています。

本製品は、ノーマルの車両を基準に開発、設計を行なっています。ノーマルから著しい変更を受けた車両に関しては本製品の機能及び性能、安全性について保証致しかねます。

本書に記載されている事項を守らなかった場合、死亡や怪我の人身事故・製品や車両その他の物損事故には一切の責任を負いかねます。その場合製品や車両その他の物品や作業工賃等の金銭的保証並びに時間的・精神的損失についても一切負担致しません。予めご了承くださいますようお願いいたします。

本書では安全に使用していただける様に下記の記号を使用し作業や使用時の危険レベルを表示しています。必ず指示に従っていただきますようお願いいたします。



警告

作業員または使用者が、死亡または重傷を負うまたは重大な物的損傷につながる危険が切迫して生ずることがある場合に表示。



注意

作業員または使用者が、傷害を負う危険を想定される場合。
また本製品が原因で誘発された物的損傷の発生が想定される場合に表示。

本製品に関するお問い合わせ、紛失、補修部品の購入、オーバーホール等のご依頼はお買い上げの販売店へお問い合わせ下さい。

製造者 株式会社セクション

■使用される前に

本製品を正しくお取り扱いいただくため、下記の注意事項を厳守して下さい。

■構造上/作業上の注意事項



警告

■本製品の装着に際して車載ジャッキやパンタグラフジャッキを使用した車体の持ち上げや保持は絶対に行わないで下さい。作業中に車両が落下してケガをしたり最悪の場合死亡する恐れがあります。必ず自動車用リフト、もしくはガレージジャッキとリジットラックを使用して下さい。



注意

■本製品の取付は必ず専門業者に依頼し、自動車メーカー発行の整備要領書や修理書と本説明書を参照して下さい。



警告

■本製品に対し切削や溶接など加工及び改造は絶対に行わないで下さい。



注意

■各部のボルト、ナットはメーカー発行の整備要領書などを参照し規定トルクに従って締付けして下さい。規定トルクに従わない場合ボルト、ナットの破損や部品の脱落等の原因となります。

■維持・管理



注意

■日常点検はドライバーの責任です。必ず実施して下さい。



注意

■本製品取付後は操縦安定性等が変化しています。操作フィーリングに慣れるまで速度を抑えて走行して下さい。



注意

■走行中に異音、異臭、振動等異常を感じた場合は、運転を中止し専門業者に症状を告げ点検、必要であれば修理を依頼して下さい。



注意

■故障の修理はお客様自身ではなさらず、必ず専門業者に依頼して下さい。

■譲渡の際には

本製品を第三者に譲られるときは本取り扱い説明書を一緒にお渡し下さい。

■廃棄する場合は

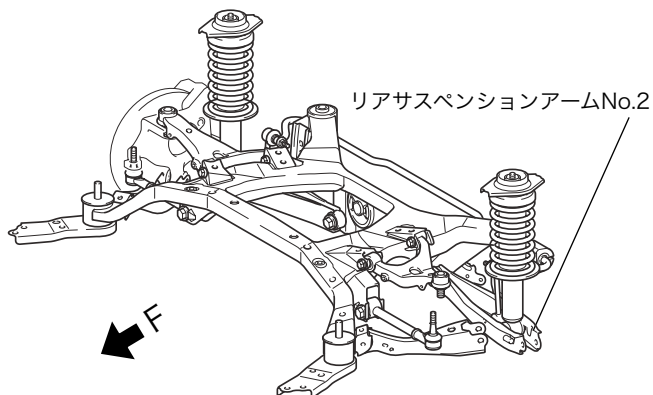


注意

■廃棄する場合はお買い上げの販売店もしくは専門業者に依頼して下さい。

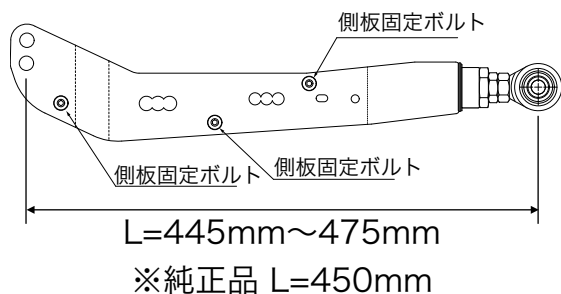
リアサスペンションアームNo.2 脱着

リアサスペンション構成図



- 車両をジャッキアップしリジットラックを使用して支えます。
- リアサスペンションアームNo.2とショックアブソーバー、スタビライザーリンク、ナックルを締結しているボルト&ナットを外しリアサスペンションアームNo.2をナックルより取り外します。
- メンバー側のボルト&ナットを外しリアサスペンションアームNo.2を車体から取り外します。

リアサスペンションアームNo.2

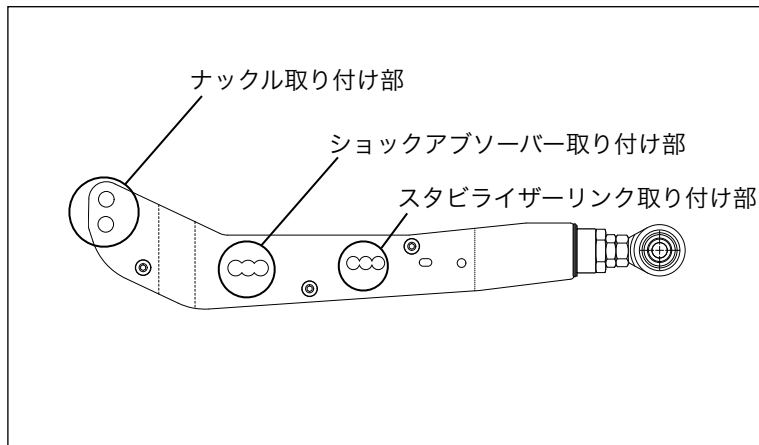


- 本製品は純部品と比べて+25mm~-5mmの範囲で調整することが可能です。
- ※純正比+25mm以上は絶対に長くして使用しないでください。

※側板固定ボルト緩めたり取り外したりしないで下さい。

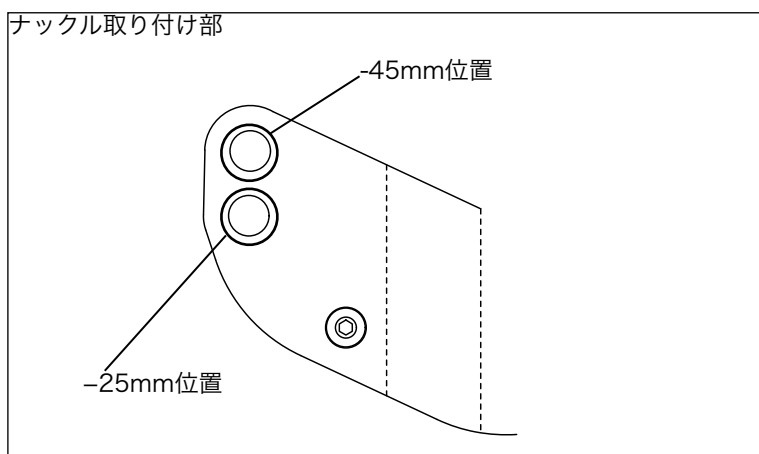
- 取り外しの逆の手順でリアサスペンションアームNo.2を取り付けます。

リアサスペンションアームNo.2 の装着・調整について

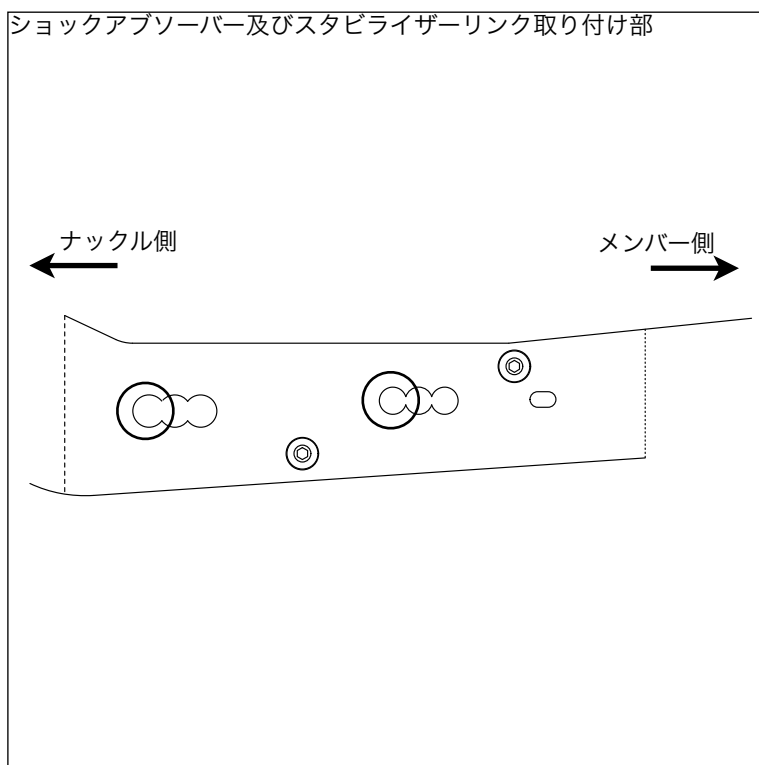


■本製品にはナックル取り付け部に二カ所、ショックアブソーバー及びスタビライザーリンクの取り付け部にそれぞれ三カ所の取り付け穴を設けています。

下記の内容を良くお読みになり理解された上ご使用ください。



■ナックル取り付け部は取り付け穴を選択する事で車高を下側で約-25mm、上側で約-45mm低い車高にすることができます。純正と同等の車高にすることは出来ません。車高調整サスペンションの全長調整やプリロードの調整を駆使して車高とバンプ/リバンプストロークの調整が必要になります。



■ショックアブソーバー及びスタビライザーリンク取り付け部の標準取り付け位置は最もナックル側の穴になります。

リアサスペンションアームNo.2を調整して伸ばしていった場合、ショックアブソーバーや及びスタビライザーリンクの取り付け角が大きくなります。

ショックアブソーバーやスタビライザーリンクに不具合が出そうな場合にメンバー側の穴に変更して下さい。

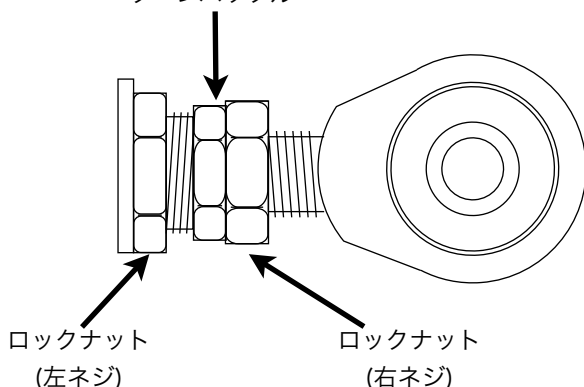
※特にショックアブソーバーの取り付け部はレバー比が変わるためスプリングレートやショックアブソーバーの減衰力の変更や調整が必要になる場合があります。

リアサスペンションアームNo.2 の装着・調整について

ナックル側装着位置

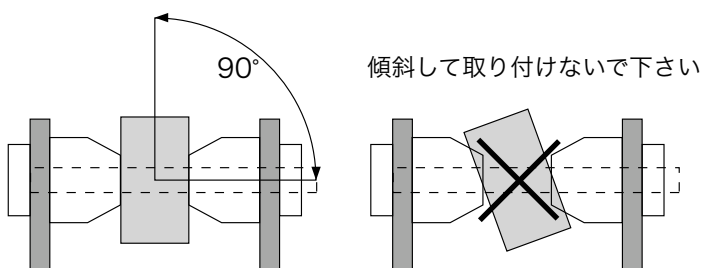


ターンバックル



アライメント基準値

アライメント基準値	
キャンバー角度	-1°20'
トー	0mm



■本製品は車高調整機構のあるショックアブソーバーとスプリングの組み合わせでご使用下さい。調整機構が無い場合本製品だけでなくショックアブソーバーやスプリングの性能も発揮できません。ご注意ください。

■バンブ側のストローク確保のためにご使用になる場合は、車体とタイヤやサスペンションアーム等の干渉がないか良く検証し必要に応じて対策を施してからご使用ください。※いかなる場合に於いても現状からバンブ側ストロークを増すことを保証する部品ではありません。

■リヤのアライメントの基準値は左表の通りです。※標準車高における自動車メーカーの値です。キャンバー調整を実施するとトーインも変化します。必ずトー調整も実施して下さい。

■ピロボールをロックする時は取り付けボルトに対して90°になる様に固定して下さい。傾斜して取り付けるとピロボールの寿命が短くなったりトラブルの原因となります。

■本製品の取り付けにより、変更前と操作フィーリングは変化しています。操作フィーリングに慣れるまでは速度を控えて走行して下さい。